

出すと。又聞く蘭州西安間の交通最も頻繁なるは、秋冬の季節に在りて、其の之あるは農民既に收穫を完うし、更に幾許の勞銀を獲んと欲すればなりと。途に漢中府より酒及紙を運びて、蘭州に向ふ驢馬に逢へり。

八日西行打狼咀タイランチエに到り、此より上坂、平准咀ピンチンチエに進み、魏家庄イーチヤ、車門外チョメンワイを経て、車道嶺チョタオリン海抜約六千六百尺の頂に達す。營所あり、二哨の兵を置く。次で下坂、甘草田カンツアオテン、五里堡を過ぎて清水に入る行程約十里。途上山頂に牛羊を牧養するを認む。但し本日經過の地土地乾燥、路面灰の如く、數馬先行すれば塵埃煙と颺りて、後者前者を見る能はず、前者亦後者を顧るを得ざりき。附近土人の物を搬送する多くは驢馬或は負籠等を以てせるを見る。

九日午前一時三十分、曉天氷を破り、朔風馬に鞭ち、固城クーチヨンシヤイコワンコンハンタオチンチヤイエンス、下關宮、韓道、金家岩、史家溝、東舖等トシブを過ぎ、且つ此間小水子河シヤオシユイツホの迂回せるを渡るもの數回。小水子、高家庄、山園シヤンヨワン子、東崗舖トシカンブ、十里堡を経て行程約十五里蘭州に投宿す。

地形は清水の西方に於ては南北山相遠く、地面略々平なるも、韓道以西は、兩側山に接近し、山面急傾斜を爲して路に逼れり。本道は遂に其北側の山麓に通ずるか

黃塵人馬  
を罩む